

川島グループ

杉山製作所を完全子会社化

事業連携、シナジー創出



杉山製作所の主力製品の整流子

非鉄総合商社、川嶋(本社)浜松市西区、川島義勝代表)を中核とする川島グループはこのほど、小型モーター用整流子(コンミター)などを製造する杉山製作所(本社)静岡県御前崎市)に、2月1日付で100%出資し、事業連携を進めていく方針を明らかにした。原材料の購入やリサイクル、財務面でのバックアップなどを通じてシナジー効果を發揮していく考えだ。

同グループはアルミ精錬や貴金属スクラップのリサイクル・リユースなど非鉄金属分野で幅広く事業を展開す

る総合非鉄リサイクル企業グループ。近年では不動産、レジャー、介護などを金属以外にも幅広い分野で事業を展

開している。

小型モーター部品の一貫製造ノウハウを有する杉山製作所と川島グループは、40年以上の取引を通じて信頼関係を構築してきた。今回、両社間で事業連携の合意に至り、杉山製作所の全株式を川島グループが取得。新生「杉山製作所」として新たなスタートを切った。これにより両社がサイエキュラーエコノミー(循環経済)に基づいた動静脈企業間の連携

推進を図っていく考え。加えて、川島グループが持つ幅広いネットワークや銅やアルミなど原材料に関する豊富なノウハウを杉山製作所と共有することで、事業の効率化を図っていく。

杉山製作所は新体制発足に伴い、社長に小野貴彦営業本部長が昇格。杉山賢一社長は会長に就任した。杉山製作所の全従業員は継続雇用され、製品の製造、供給なども従来通り行われる。なお、本社機能は東京都目黒区から静岡県御前崎市に移管した。

川島グループは今回の事業連携で弾みをつけ、創立60周年を迎える2024年までにグループ総売上高で1000億円、経営利益で50億円の達成を目指す方針だ。